

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あかぐみ東大和			
○保護者評価実施期間	R7年 5月 1日 ～ R7年 5月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	R7年 5月 1日 ～ R7年 7月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 7月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人ひとりの発達に合わせた寄り添った支援を行っています。	その子がその子らしく過ごせる環境作り（自分の気持ちを正直に伝えやすいよう接する。傾聴、スキンシップ、趣味嗜好に見合った遊びの提供や話題の提供、同じ目線で過ごす）	スタッフも自分自身も楽しいと思える環境作りの継続（楽しいあかぐみ、笑顔いっぱいあかぐみで利用者様もその楽しい雰囲気ですぐでも行きたい！と思える環境作り）と新しい活動への取り組み（事業所間交流・遠足やお出かけ等のイベントを増やす）
2	家族支援（保護者様・ご家族の方への寄り添った支援）	保護者様からの声（相談・意見・要望）を状況に応じて出来る限り支援内容に取り入れている。電話やLINE、送迎時にもご家族のみなさとのコミュニケーションを大切にしています。	保護者様が話しやすいと思える環境作り。一部のスタッフだけでなく全スタッフに対して行えるよう送迎時や保護者会等のイベント時に保護者様とのコミュニケーションを増やす。
3	保護者様評価表にて事業所の支援に満足して頂けたこと。	出来る範囲ではあるが保護者様の声に（相談・意見・要望）寄り添い支援に繋がるよう相談しながら行っている。LINEでの連絡が多いが必ず返信するなどこまめな対応を行っている。	スタッフ1人ひとりの良さを引き出し現在のスキルを磨き、新たなスキルや知識を身に付けステップアップする（実践でのアドバイス、コミュニケーションの構築、eラーニング研修）

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のイベントの参加や外部との交流の活動が少ない。	車椅子1台につきスタッフ1人の配置となるとスタッフの手が足りず皆、揃っての外出やイベント参加が出来ないことが多い。	全員一度に参加ではなく時間別行動や日を分けて活動するなど工夫してプログラムを立てる必要がある。また、ボランティアの受け入れも視野に入れたい。
2	事業所行事に地域住民を招待出来ていない。	過去に事業所バザーを開催し、地域住民へバザーのお知らせの手紙を配布したがお手紙を見て来てくれた方はほぼいなかった。事業所自体の周知も少なかったと思う。	今年は東大和市開催の福祉祭を通じて周知して頂きたい、福祉祭への参加（バザー出店）のエントリーを行った。参加出来れば地域住民の方に周知頂けるのではないかと考えている。
3	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対策マニュアルについて保護者様への周知、理解が不十分である。	契約時と保護者会を通じて説明は行っているが十分な周知ではない。	言葉だけの説明ではなく、今後は保護者様との感染症勉強会や事業所ごとの引き渡し訓練といった実際に行動を起こしての周知も必要なのかと考えている。